

政策提案書

平成27年10月30日

(宛先) 茅ヶ崎市長

住 所
提案代表者 氏 名
電話番号

次のとおり政策の案を提案します。

市民の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 1 市内在住 <input type="checkbox"/> 2 市内在勤、市内在学、市内で事業活動等又は市に納税
勤務先、学校名、事業活動等の内容等	
提案する政策の名称	湘南・茅ヶ崎北部を農/食/食文化と健康の景勝地へ
現状の課題、問題点	茅ヶ崎北部地域は、急速に進む少子高齢化社会を迎え、農・食の視点からの地域経済活性化の施策として、農業経営の安定・所得向上・担い手、6次産業化、遊休農地の活用、体験・滞在型観光、多世代人口の増加等を図る方策が喫緊の課題となっている。さらに、地域住民を取りまく生活環境は、家族構成やライフスタイルの多様化と共に変化し、食をはじめとした日常生活や健康・介護予防に様々な問題が生じてきている。
提案する政策の内容	<p>地域食材の拡大、地域の魅力再発見、6次産業化、食育、健康・介護予防、未病と健康寿命延伸、食・食文化の発信等の事業施策を通して地域活性化と地域ブランド化を推進し地域住民の健康で楽しく豊かで幸せなライフスタイルを実現する政策を提案する。提案する政策の目的、背景、地域特性、事業計画の内容を具体的に記入する。</p> <p>1) 目的 茅ヶ崎市の農産物・食品とこれに関連する多様なモノ・サービスとを現場発の発想で結びつけ、地域食材とその食文化の魅力を再発見し、用途拡大とその普及に取り組む。農業、食品業、健康・未病・介護支援業、観光（多世代交流・滞在型）の振興を図る。地域多世代住民の新たな発想による茅ヶ崎北部のさらなる魅力向上と地域ブランドの育成に取り組む。湘南・茅ヶ崎の農食/食文化/健康/景観を国内外に情報発信し、訪日外国人を含む多くの来訪者を迎え新しい形の健康長寿「国際未来モデル地域」を目指す。</p> <p>2) 背景 茅ヶ崎市は、相模湾の海岸線から北部に広がっており平野となだらかな丘陵地から形成されている。年間を通じて温暖な気候と、相模川・小出川等の河川が縦横に走る</p>



水系から農業に適しためぐまれた土地であり、四季折々の野菜、果樹、花卉を楽しむことができる。ハウレンソウ、トマト、コマツナ、ダイコン、コメ、カブ、レタス、サツマイモ、タマネギ、エダマメ、柿、なし、ぶどう、シクラメン、スイートピー等の農作物が多く生産されている。特に、多様な地場野菜は、近年その品質、新鮮さ、美味しさに評価が高まり、湘南・茅ヶ崎野菜として国内外への普及が期待される。アジ、シラス、イワシ、ヒラメ、スズキ、イシダイ等の相模湾の旬の魚が入荷する。

3) 地域特性

茅ヶ崎市は、江戸時代から昭和 30 年代頃までは東海道（現在の国道 1 号）を境に山側は田畑、山野の料理を食し、海側は半農半漁で相模湾の豊かな魚介類の浜料理を食していた。

その時代の郷土料理は村の年中行事と深く関連しており、農作業で忙しい毎日のなか、行事のときに村人の楽しみを含めてご馳走を作り、その行事食が郷土料理として引き継がれている。現在でも、収穫後の新米の「お餅」、「ぼたもち」、豊富な野菜で作る農家の「漬物」、サツマイモの「芋だんご」、相模湾の旬の海の幸とダイコン、ニンジン、コマツナ、カブ、ネギ、レンコン、竹の子等の新鮮な茅ヶ崎野菜を使った「なます」、「郷土料理」、「海鮮料理」が楽しまれている。

一方、江戸と京都を結ぶ東海道沿いに位置する茅ヶ崎は休憩所、茶屋、旅宿が置かれ、往来する旅人、大名行列は茅ヶ崎の食材、料理を楽しむと同時に、江戸、三河、京都の食文化の影響を茅ヶ崎に残した。

さらに、8 代将軍 徳川吉宗公の時代に江戸町奉行、寺社奉行の要職を歴任し、優れた経世家、文化人として知られている「大岡越前守忠相公」の知行地であったことと菩提寺（浄見寺）があることは、茅ヶ崎の農業と食文化に大きな影響をあたえ現在に至っている。

その浄見寺と古民家から北に広がる県立里山公園、文教大キャンパス、美しい田園、体験農園、桜の道、果樹園、牧場、腰掛神社、小出川とその先に展開する遠藤の丘の慶応大湘南キャンパスの自然環境、それぞれから望める富士山の雄大な美しい姿は、湘南・茅ヶ崎を田園と里山に囲まれた歴史文化が息づく魅力ある景勝地としている。

さらに、茅ヶ崎市北部の下寺尾には、縄文～弥生～古代へと続く我々の先祖が暮らしていたことを実証する素晴らしい文化遺産「下寺尾古代遺跡群」が発見されている。平成 27 年 3 月に「国指定史跡」となったこの貴重な文化遺産を後世に伝えるため、茅ヶ崎市、文化財保存団体、学術団体そして市民団体をはじめ多くの地域住民の参加によりその史跡・遺跡の保存・公開と歴史文化の情報発信の取り組みが始まっている。

この自然、文化、景観のなかで、毎年開催される「大岡越前祭」、「里山フェスタ」、「収穫祭」、「小出川彼岸花まつり」等は、茅ヶ崎の多様な野菜をはじめ豊かな産物を再発見する機会と披露される歌や太鼓などの芸能や郷土料理を楽しむ場でもある。このイベントとの関連で、文教大学、慶応大学 SFC、茅ヶ崎市、農家等のコラボレー

ションが提起した大岡家「一万石の食卓」のテーマは、江戸時代から現代へとつながる茅ヶ崎の「農業と食文化」を知るうえで貴重な内容である。
この郷土料理の研究と再現の試みは、市民に誇りと感動が生まれ貴重な体験と成る。

4) 事業計画

4-1) 事業目標と内容

- ① 6次産業化事業
- ② 農と食の健康・未病・介護予防の推進事業
- ③ 農/食/食文化/景観の魅力発信事業

この事業目標の達成を目指す事業計画（5ヵ年、KPI設定、PDCAサイクル）の立案、事業運営、進捗管理、評価の実施に取り組む組織として「湘南・茅ヶ崎北部の農食健視モデル地域協議会（仮称）」の設置を予定している。

「協議会」の構成メンバーは、福祉・介護農園普及推進会が平成25年～27年に取組んできた農林水産省の2つの交付金（補助金）事業の検討委員会委員を想定している。

尚、協議会の正式な発足の際は、新たな生産農家、食品事業者、健康・医療・介護予防サービス事業者、大学研究室の参加が予定されている。

① 6次産業化事業

- ①-1 6次産業化事業の実施計画の立案
- ①-2 地域資源等の現状調査、地産地消推進のマーケティング調査
- ①-3 6次産業化の実施（食材の選定、商品開発、試作品製作、用途拡大）
- ①-4 農業後継者/担い手の確保と人材（多世代）の育成プログラム作成

6次産業化等の新たな視点に立った地域食材の生産、加工過程における付加価値商品の開発、多世代の地域住民のアイデアを取り入れた料理レシピの企画開発、新規販路や新用途の開拓を促進する。また、「道の駅」に向けた郷土料理の創作に取り組む。さらに、地域の新たな発想による茅ヶ崎の地域ブランド力の向上と新事業創出による地域活性化を図りながら、国内外の市場を目指して新たな商品開発を促進する。

② 農と食の健康・未病・介護予防の推進事業

- ②-1 農と食の健康・未病・介護予防事業の実施計画の立案
- ②-2 地域資源等の現状調査、健康・未病・介護予防推進のマーケティング調査
- ②-3 農業体験農園の運営、健康・未病・介護予防キッチン&ラボの開設
- ②-4 介護食品（スマイルケア食）、健康食品の企画開発、製作、販売を実施

	<p>「農食と健康」の視点に立って、茅ヶ崎市の「豊かな長寿社会コンソーシアム」の取組みに参加し、併せて神奈川県「ヘルスケア・ニューフロンティア構想」に設置された未病産業研究会に参加・連携し、茅ヶ崎市民との協働により実証プログラムを作成する。各個人のライフステージの特徴に応じた“食育”の取組み、健康寿命延伸を目指した「健康・未病・介護予防」の促進に役立つバランス良い食事、健康管理、体操、運動、料理教室、農食体験プロジェクト、家庭菜園、各種イベントを実施する。</p> <p>③ 農/食/食文化/景観の魅力発信事業</p> <p>③-1 「農/食/食文化と健康の景勝地の形成」に向けた情報プラットフォーム構築 ③-2 郷土料理レシピの企画開発、地域の行事食と食文化のイベント開催 ③-3 湘南・茅ヶ崎北部の地域ブランド化計画の立案、事業実施 ③-4 「農/食/食文化と健康」に関する収穫祭、セミナー、シンポジウムの開催</p> <p>茅ヶ崎の人々は、東海道（国道1号）を境に山側は田畑、山野の食材・料理を食し、海側は半農半漁で相模湾の豊かな魚介類の浜料理を食していた。一方、江戸と京都を結ぶ東海道沿いに位置する茅ヶ崎は、往来する旅人、大名行列より江戸、三河、京都の食文化の影響を残している。さらに、優れた経世家、文化人として知られている「大岡越前守忠相公」の知行地であったことと菩提寺があることは、茅ヶ崎の農業と食文化に影響をあたえている。</p> <p>近年は、東京や横浜へ通勤する市民や都心部からの移住者も増え、かつ少子高齢化社会によるライフスタイルの変化と共に食・食文化も多様化している。</p> <p>茅ヶ崎の自然環境、景観は、相模湾から北部に広がり平野となだらかな丘陵地から形成されている。北部地域は田圃、森、小出川に囲まれた美しい街並み、里山公園、文教大キャンパス、下寺尾古代遺跡群、神社、寺、古民家、桜の道、果樹園、牧場、腰掛神社とその先に展開する遠藤の丘の慶応大湘南キャンパス、それぞれから望める富士山の雄大な美しい姿は、湘南・茅ヶ崎を田圃、里山、相模湾、相模川に囲まれた相模国の風土を残す歴史文化が息づく魅力ある景勝地としている。</p> <p>このような背景を生かして、上記 ③-1 から ③-4 の事業を実施する。</p>
<p>予想される効果</p>	<p>本協議会が実施する地域農産物、食・食文化、人材育成、健康・未病、介護予防、自然環境、景観を組み合わせた、かつ6次産業化による新たな付加価値商品の開発・用途開拓の視点に立った地域の一体的なブランドづくりの取組みは、地域が主体となって行う地域活性化、地域づくりの先進的モデルになる。</p> <p>さらに、その事業実施の中で行われる様々な情報発信、イベントは、国内外の人々に対する湘南・茅ヶ崎の農食/食文化/健康/未病/介護予防/自然環境/景観のプロモーションとマーケティングと成り、国内外に興味を持つ人々が増え、湘南・茅ヶ崎での食・食文化と健康なライフスタイルの体験型/滞在型観光客の増加に繋がり、地域主体の観光地域づくりとなる。さらには多くの国内外の人々が「訪れてよし、働いてよし、住んでよし」の『健康長寿の国際未来モデル地域』へ発展する波及効果が期待される。</p>

必要な費用	① 6次産業化事業の積算概算見込み (5カ年計画、3,600万円)	
	①-1	6次産業化事業の実施計画の立案 100万円
	①-2	地域資源等の現状調査、地産地消推進のマーケティング調査 100万円
	①-3	6次産業化の実施(食材の選定、商品開発、試作品製作、用途拡大) 2,000万円
	①-4	農業後継者/担い手の確保と人材(多世代)の育成プログラム作成 1,400万円
	② 農と食の健康・未病・介護予防推進事業の積算(5カ年、3,400万円)	
	②-1	農と食の健康・未病・介護予防事業の実施計画の立案 100万円
	②-2	地域資源等の現状調査、健康・未病・介護予防推進のマーケティング調査 200万円
	②-3	農業体験農園の運営、健康・未病・介護予防キッチン&ラボの開設 1,800万円
	②-4	介護食品(スマイルケア食)、健康食品の企画開発、製作、販売を実施 1,300万円
	③ 農/食/食文化/景観の魅力発信事業の積算(5カ年計画、2,800万円)	
	③-1	「農/食/食文化と健康の景勝地の形成」に向けた情報プラットフォーム構築 1,500万円
	③-2	郷土料理レシピの企画開発、地域の行事食と食文化のイベント開催 600万円
	③-3	湘南・茅ヶ崎北部の地域ブランド化計画の立案、事業実施 500万円
	③-4	「農/食/食文化と健康」に関する収穫祭、セミナー、シンポジウムの開催 200万円

- 備考
- 1 本人が自筆で氏名を記入したときは、押印を省略することができます。
 - 2 「市民の区分」欄は、茅ヶ崎市内に在住する場合は、□1にレ印を記入し、茅ヶ崎市外に在住する場合は、茅ヶ崎市内に在勤し、若しくは在学し、市内で事業活動等を行い、又は茅ヶ崎市に納税しているときは□2にレ印を記入してください。
 - 3 「市民の区分」欄の□2にレ印を記入したときは、「勤務先、学校名、事業活動等の内容等」欄に、勤務先、学校名、事業活動等の内容等を具体的に記入してください。
 - 4 「現状の課題、問題点」欄は、問題となっている事項、課題、その背景、考えられる原因等について記入してください。
 - 5 「提案する政策の内容」欄は、できるだけ具体的に記入してください。
 - 6 「必要な費用」欄は、提案する政策を実施するのに必要と見込まれる費用(概算でも可)を記入してください。
 - 7 この用紙に記入しきれないときは、必要に応じて別紙を使用してください。
 - 8 政策提案者署名簿(第3号様式)を添付してください。